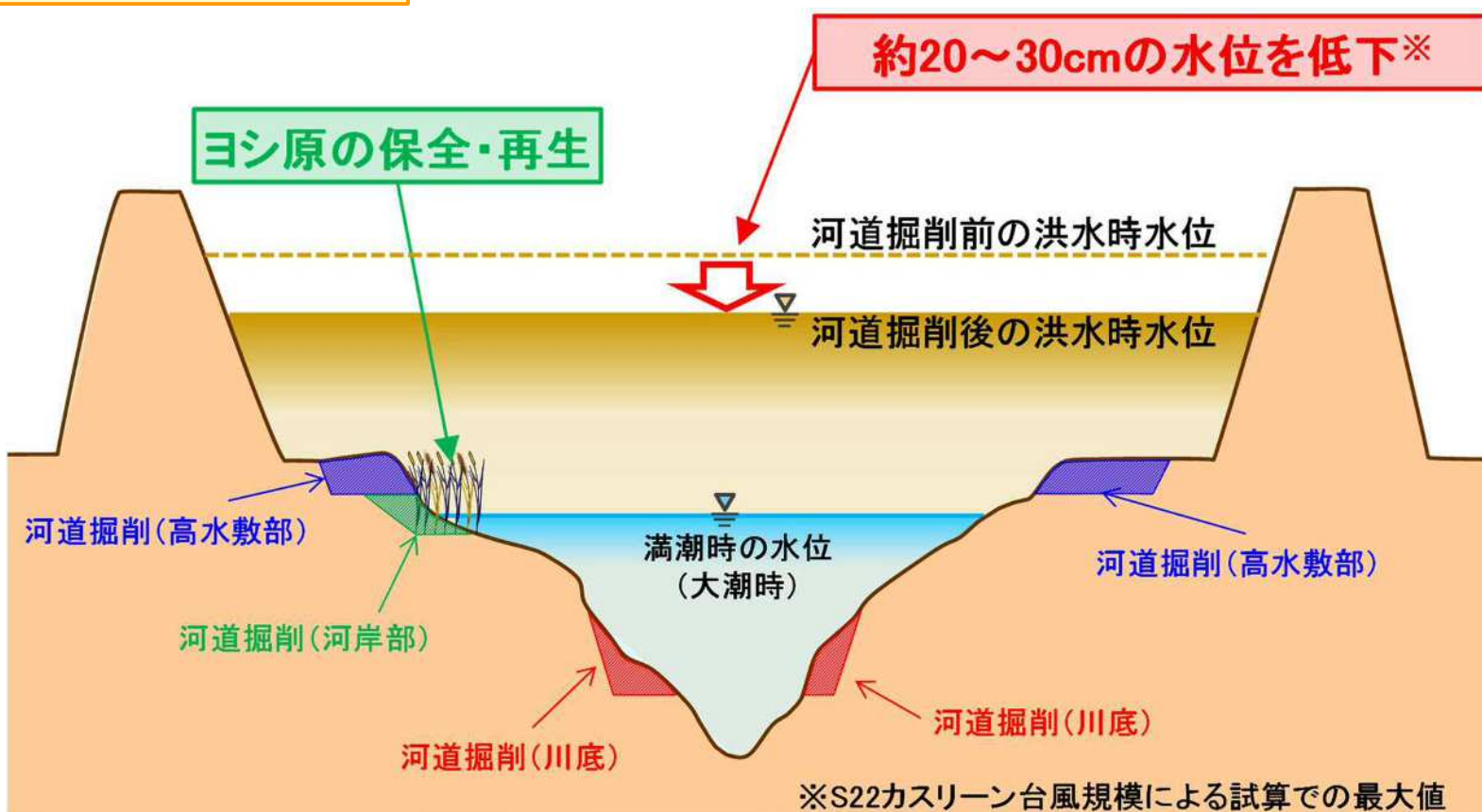


河道掘削の効果と河川環境の再生

- 今年度までで川底の河道掘削は概ね完了し、引き続き2.8k～10.0kの高水敷部(河岸部含む)の河道掘削に着手いたします。
- 河川整備計画に基づく河道掘削により、京成本線荒川橋梁付近で約20～30cmの水位を低下させるとともに、その他の治水対策を併せて実施することにより、目標である昭和22年カスリーン台風と同規模の洪水を安全に流下させます。
- 河岸部の河道掘削にあたっては、満潮時に冠水する程度の高さに整備し、荒川下流部にかつて存在していた多様性のある湿地環境の再生を目指します。

河道掘削の効果



ヨシ原・干潟などの湿地環境のイメージ



ヨシ原・干潟の代表的な生き物であるヤマトシジミ



ヨシ原の保全・再生事例
(江戸川区小松川地先)